

## 地域医療の効率化を目指した人工知能による往診要請予測モデルの開発

### はじめに

兵庫県立丹波医療センターでは、訪問診療を導入されている患者を対象に研究を実施しております。内容については下記のとおりとなっております。

尚、この研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております[問い合わせ窓口]までご連絡ください。

### 1. 研究概要および利用目的

兵庫県立丹波医療センターでは、訪問診療を導入されている患者の診療録から得られる情報を用いて、研究を行っています。

本研究の目的は、以下の2項目です。①兵庫県内の多施設の医療機関において訪問診療を導入された患者様を対象として、訪問診療開始時の生物学的特徴ならびに心理・社会的要素を人工知能（AI）を用いて網羅的に機械学習させることにより、精密な往診要請予測モデルを開発します。②往診にかかるリスク因子を同定し、将来の往診要請予測モデルを開発するのみならず、兵庫県内の在宅診療利用患者のデータベースを作成することにより地域医療の研究基盤構築を目指します。

### 2. 研究期間

この研究は、2023年8月24日（兵庫県立丹波医療センター倫理委員会承認日）から行われます。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

以下の項目について、既存の情報を取得します。

- 1) 患者基本情報：年齢、性別、診断名、既往歴、併存疾患、治療内容、投薬内容など
- 2) その他の情報：患者、家族の生物学的特徴、心理、社会的因子、訪問診療導入日から往診要請までの日数など

### 4. 研究機関

この研究は以下の研究機関と責任者のもとで実施いたします。

兵庫県立丹波医療センター（研究代表者：小林 崇人、研究責任者：林 友鴻）

協力研究機関：丹波市ミルネ診療所、医療法人おひさま会おひさまクリニック、同おひさまクリニック西宮、同おひさま在宅クリニック、神戸大学 未来医学講座分子疫学分野

### 5. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。匿名化対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。データは国内だけでなく海外にある者に対しても提供される場合があります。その場合、匿名化対応表は提供せず、個人の特定ができない状態で共有します。

### 6. 個人情報の管理方法

プライバシーの保護に配慮するため、患者さんの試料や情報は直ちに識別することができないよう、対応表を作成して管理します。収集された情報や記録は、外部記憶装置に記録し、当センターにて厳重に保管します。

## 7. 試料・情報等の保存・管理責任者

資料の保存は、分析は当センターと神戸大学未来医学講座分子疫学分野で行います。

研究データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。匿名化対応表は、該当する患者さんが診療を受けた病院の研究責任者や個人情報管理者などが保管・管理します。研究のデータは、WHO などの国際的な研究グループと共有する場合があります。その場合、匿名化対応表は提供せず、個人の特定ができない状態で共有します。この研究の情報を保存・管理する責任者は以下のとおりです。

代表研究機関：兵庫県立丹波医療センター（研究責任者：林 友鴻）

## 8. 研究へのデータ提供による利益・不利益

利益・・・本研究にデータをご提供いただく事で生じる個人の利益は、特にありません。

不利益・・・診療録からのデータ収集のみであるため、特にありません。

## 9. 研究終了後のデータの取り扱いについて

患者さんよりご提供いただきました情報は、研究期間中は、兵庫県立丹波医療センター、神戸大学未来医療講座分子疫学分野にて厳重に保管いたします。ご提供いただいた情報が今後の医学の発展に伴って、病気の診断や治療に新たな重要な情報をもたらす可能性があり、将来そのような研究に使用することがあるため、本研究終了後も引き続き、兵庫県立丹波医療センター、神戸大学未来医療講座分子疫学分野にて厳重に保管させていただきます。

なお、本研究の情報をういて新たな研究を行う際は、医学倫理委員会の承認を得た後、情報公開文書を作成し病院のホームページに掲載します。ただし、患者さんが本研究に関するデータ使用の取り止めに申出された場合には、申出の時点で本研究に関わる情報は復元不可能な状態で破棄いたします。

## 10. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合には、患者さんを特定できる情報は利用しません。

## 11. 研究へのデータ使用の取り止めについて

いつでも可能です。取りやめを希望されたからといって、何ら不利益を受けることはありませんので、データを本研究に用いられたくない場合には、下記の[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取り止めの希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合には、結果を廃棄できない場合もあります。

## 12. 問い合わせ窓口

この研究についてのご質問だけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

兵庫県立丹波医療センター 内科・地域医療教育センター 担当者：小林 崇人・林 友鴻

情報公開文書

住所： 兵庫県丹波市氷上町石生 2002 番地 7

TEL: 0795-88-5200

研究代表者:

兵庫県立丹波医療センター 内科 小林 崇人

研究責任者:

兵庫県立丹波医療センター 内科・地域医療教育センター 林 友鴻